

適用規格					
定 格	使用温度範囲	△ -40℃ ～ 105℃	保存温度範囲	-10℃ ～ 50℃ (梱包材を含む)	
	電 圧	AC/DC 50 V	使用・保存湿度範囲	相対湿度90%以下 (結露しないこと)	
	電 流	0.5 A (全芯数通電する場合は×70%)	適合ケーブル	t=0.3±0.05、接触部：金めっき	
性 能					
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT
構造	外観、構造及び仕上げ表示	目視、寸法測定器にて測定する。 目視にて確認する。	図面と合致していること。	○	○
	電気的 性能	接触抵抗 1 mA (DC 又は 1000 Hz)で測定する。 絶縁抵抗 DC 100 Vで測定する。 耐電圧 AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	50 mΩ以下 ※ FPC,FFC 導体抵抗を含む。(L=8mm) 500 MΩ以上 せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	○
機械的 性能	繰り返し動作	20 回の抜き差しを行う。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐振性	周波数 10 ～ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3 軸方向各 10サイクル試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ② 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	—
	衝撃	加速度 981 m/s ² , 持続時間 6 ms, 正弦半波 3方向各 3 回試験する。	③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	F P C 保持力	適合FPCで測定する。(コネクタ、FPC共に 初期。FPC端末厚t=0.3mm)	挿入方向 0.4×n N以上 (n：芯数)	○	—
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -40→+15～+35→+105→+15～+35℃ 時間 30→ 2～3 → 30→ 2～3 分 を 5 サイクル試験する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 ③ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	定常状態の耐湿性	温度 40±2℃, 湿度 90～95 %中に 96時間放置する。		○	—
	温湿度サイクルの耐湿性	温度 -10～+65℃, 湿度 90～96 %中に 10 サイクル(240 時間) 放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② 絶縁抵抗： 1 MΩ以上 (高湿時) ③ 絶縁抵抗： 50 MΩ以上 (乾燥時) ④ 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	耐熱性	温度 105±2℃中 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下	○	—
	耐寒性	温度 -40±3℃中 96 時間放置する。	② 破損、ひび、部品のゆるみがないこと。	○	—
	塩水噴霧	温度 35±2℃、濃度 5% の塩水噴霧中に 96 時間放置する。	① 接触抵抗： 50 mΩ以下 ② はなはだしい腐食がないこと。	○	—
	二酸化硫黄 [JIS C 60068-2-42]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 25±5ppmに 96 時間放置する。		○	—
	硫化水素 [JIS C 60068-2-43]	温度 40±2℃、相対湿度 80±5% 濃度 10～15ppmに 96 時間放置する。		○	—
	はんだ耐熱性	1)リフローの場合 MAX 250℃ (2回迄可) 230℃以上 30秒以内 ﾌﾟﾘｰﾄﾞ 150～200℃ 90～120秒 2)手はんだの場合 350±10℃ 5±1秒間	外観の変形及び端子などに著しい ガタがないこと。	○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 235±5℃, 浸せき時間 2±0.5 秒間のはんだ付けを行う。	はんだ浸せき面の 95 %以上が 新しいはんだでぬれていること。	○	—
△の数	訂正記事		設計	検図	年月日
△1	6	DIS-F-00000491	SG. MASAKI	HS. SAKAMOTO	15. 07. 25
備考 △ 試験規格の記載のない試験方法は、IEC 60512(対応規格 JIS C 5402)を適用している。			承認	MO. ISHIDA	10. 05. 13
			検 図	NM. NISHIMATSU	10. 05. 13
			設 計	YS. EBI	10. 05. 12
			製 図	YS. EBI	10. 05. 12
注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目			図番	SLC4-328248-00	
HRS	製品規格表		製品名	FH52-**S-0.5SH	
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL580	△ 1/1